

写真ハイキング 秋田駒ヶ岳 焼石岳

日程：10月2日～4日

参加者：丸山 N 渡邊 5 鈴木 M 佐藤 M 板谷 藤

写真講師：前山

【10月2日】 柏 7:00＝黒湯温泉 15:40

【10月3日】 黒湯温泉 5:00＝八合目登山口 7:10－阿弥陀池 8:30－男女岳 9:00－焼森
10:10－八合目登山口 11:05＝夏油温泉 15:45

【10月4日】 夏油温泉 5:00＝中沼登山口 6:30－銀明水避難小屋 8:30－姥石平分岐 10:10
－焼石岳山頂 10:40－中沼 13:30－中沼登山口 14:12＝柏 22:30

10月3日(金) 秋田駒ヶ岳 (藤 記)

今回は東北のピークを迎えた紅葉を求めての写真ハイキングです。なんと秘湯温泉巡りもついてます！写真講師を務めていただく前山さんは8月末に放映されたNHKの番組“8K映像大集合！新絶景タイムスケイプ”で前山さんの映像が採用され紹介されました。

ご覧になられた方も多いと思います。

さて、前日に骨の髄まで癒してもらった乳頭温泉の秘湯黒湯を朝5時に出発、アルパこまくさでバスに乗り換え、秋田駒ヶ岳八合目登山口へ。

天気予報は芳しくないものの、登山口は太陽が拝める状態ですっかり紅葉した八合目はもうすでに鮮やかな赤や黄色で秋色です。登り始めてしばらくすると駒ヶ岳最高峰の男女岳が見えます。そこは山麓から頂上付近までの斜面はもう山全体が赤や黄色の紅葉で埋め尽くされ、麓には田沢湖が見えます。

紅葉は今がピーク。この素晴らしい紅葉を写真にと参加者全員で写真タイムとばかりに激写！阿弥陀池も周りは紅葉で埋め尽くされています。これからという時では有馬視野が、阿弥陀池辺りからガスがかかり、風も強くなって、写真ハイキングには厳しい天候となってしまったために、当初計画し



ていたムーミン谷コースは諦め、横岳経由での短縮コースとしましたが、横岳から三ツ石岳を望むならかな稜線には雄大に広がる紅葉が見られその景色に圧倒されました。

しかしながら、個人的には残念なことです、この絶景をカメラに収めようと一生懸命、

シャッターを切ったにも関わらず、相変わらずの駄作ばかり。“カメラは自分の目と同じようには捉えられない、カメラの特性を見極めて工夫すること”これが今回の教訓でありまた学んだことでもあります。なので、素晴らしいこの紅葉は目にしっかりと焼き付けておきました。下山後は岩手に移動し秘湯中の秘湯、夏油温泉の名物、激熱風呂の大湯(本当に熱いです)でチリチリするくらいの気合をいれてもらいました。



10月4日(土) 焼石岳 (板谷 記)

山一面が燃えている！！ 栗駒山から見たあの山に行ってみたくと思ったのが焼石岳でした。「登るのが結構大変なんだよね」と側にいらした登山者の声。

秘湯の元湯夏油に泊まり、川のほとりにあるいくつかの露天風呂の熱々の温泉で疲れを癒やし、2日目の写真講習という名の飲み会に突入。

曇りが一日中続くお天気でフォトハイクには、難しい状況でしたが、雨に降られないだけラッキーかな。

登り始めて中沼まで進むと、水波もたたず澄み切った水面に、始まりかけた紅葉が映り込み、絶好の写真スポット。沼の紅葉は緑と黄色の葉の中に、1本の背の高い赤、まるで人の手を介して整えられた庭園の中の池のよう、ともすれば京都にいるかのような上品さを感じました。そして沼の上には赤く染まる山頂部が見え始め、わくわくしてきます。

登山道にはリンドウが顔を出してくれましたが、夏の花の名残が枯れたり、実になっていたり、紅葉したりしてずっとずっと続いていました。お花の時期にはお花畑となって素晴らしい景色を作ってくれるのだらうと想像しながら歩いていました。

標高が上がり木が低くなると急に視界が開け、山一面紅葉しているのが見え歓声があがるほどでした。そして皆至る所にカメラを向けてシャッターを切り始めました。

山頂手前の泉水沼まで来ると、一段と色鮮やかな紅葉に感激。ここの紅葉は全体にオレンジ色が目立つ気がします。下世話な表現ですが、まるでTV4k、8kから流れてきそうな風景。(それほど現実感がないという感じでした)



紅葉で賑わう山とは一線を画しているのか、天気が良くないからなのか、登山者が少なく、山頂では山の会独り占め！眺望はあまり望めませんが、遠く雲海から頭を出す山並みの墨絵の様な風景や、360° 紅葉に染まる山々にシャッターの音が響きます。

名残惜しい風景ですが、雨がポツポツき始めたので、タイムアップ。

焼石岳は、名前からの印象とは違い、静寂で、上品な女性的な印象の山でした。

夢心地の登山からの帰松は、距離もあり時間もかかり、運転して下さった皆様、お疲れの中本当にありがとうございました。そしてリーダーにも大変お世話になりました。

さてさて、皆さんどんな素敵な写真が撮れたでしょうか。

私はといえば、実際に見えていた色彩とは大きく違う自分の作品にがっかり。なかなか講習会の成果が出ない劣等生ですみません。

前山先生の写真を拝見して、あまりの素晴らしさにため息がでました。大変お世話になりました。お疲れが出ませんように。



以上